

# 丹波



あらゆる京都新聞広告は(京都新聞広告各新聞社幹旋)  
**京都新聞広告扱**  
**辻村丹後総代理店**

営業エリア(宮津市京丹後市・与野野町伊根町・島根県)  
お申し込みは  
☎0772-221-2734  
FAX 0772-221-0460

### 丹波総局

福岡市安町釜ヶ前  
郵便番号 621-0805  
代表(0771)22-3515  
FAX(0771)22-3517  
tanba@mb.kyot  
o-np.co.jp

### 南丹支局

## 命宿る琴滝

講義は、火打ち石の実演で始まった。角張ったチャートという岩石に火打ち金を数回打ち付けると火花が飛んで火口がくすぶり始めた。口に近づけ吹くと火がついた。まるで江戸時代の昔にタイムスリップしたかのようにであった。今年3月に府の景観資産に登録された琴滝(京丹波町市森)をもっと理解しよう、と、丹波みらい研究会が開催した、地質についての研修会での出来事である。

講師は丹波の地質に詳しい



## 大きな火打ち石、心に炎を

井本伸廣・京都教育大学名誉教授にお願いした。丹波山地の地層は3億年前に海洋プレート移動や沈み込み、隆起によって、この地に運ばれてきたという。丹波地方の地層にはチャートが多く含まれており、琴滝も3億年前の「海の時代」に形成された古生代チャートであるとの説明を受

地中深く長い年月をかけた、この地に運ばれてきた琴滝をチャートの大きな固まりとしても一度眺めた。「岩に命が宿っているんやな」と誰かがつぶやいた。その時、初めて琴滝を見た時のことがよみがえった。小学生の夏、坂道を登り切った先に現れた大滝に驚き、呆然とその場に

NPO法人「丹波みらい研究会」顧問 湊 敏

日本人は滝好きである。信仰の対象になっている滝も多い。今昔物語集には、修行僧が琴滝とおぼしき「丹波ノ國、船井ノ郡棚波ノ瀧」に籠居し経を詠んだとの記述がある。修行僧でなくとも流れ落ちる水音や水に濡れた岩肌、周りの木々や水苔の緑を眺めているだけで心が清くなってくる。

立ちつくした。天上から舞い降りてきたかのように激しく打ち付けられる水しぶき、冷気には包まれて見上げた巨岩には神々しさがあつた。人間の思いも及ばない造形物に接し、自然に対する畏敬の念、畏怖の心を抱いたことを思い出した。  
今年で5年目となる「琴滝・冬ほたる」の準備もまな



「陽春」道下虎雄 (亀岡油絵懇話会)



講義の後、琴滝に移動し川辺や山の岩石を調査用のハン

ルミネーションで表現できれば最高である。  
大きな火打ち石の琴滝の岩盤が言っているように思えた。「熱い思いをぶつけてこい」と。琴滝の冬の夜空に大きな火花が飛び散る日が待ち遠しい。